

平成27年8月

京都市こどもの感染症



のうかしん

とびひ(伝染性膿痂疹)に気をつけましょう!

とびひ(伝染性膿痂疹)は虫刺されやあせもをかいてできた傷、ケガでできた傷等に細菌が入り、水ぶくれ(水ほう)が体中に広がる病気です。かゆみがあり、感染力が強く、夏に子どもを中心に流行します。とびひ(伝染性膿痂疹)にかかったら、ひどくなったり、人にうつしたりしないよう、次のことに気をつけましょう!



皮膚を清潔にしましょう!



患部はこすらず、石けんをよく泡だてて、丁寧に洗い、シャワーでよく洗い流しましょう。

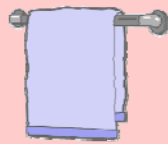
患部に触れないようにしましょう!

水ぶくれ(水ほう)がつぶれると、細菌の入った液が周囲に拡散します。また、かいた手を介して体中に広がることもあるので、引っかかないように爪を短めに切るようにしましょう。



タオルなどの共用はやめましょう!

タオルなどを介してうつるので、共用はやめましょう。



水ぶくれ(水ほう)が一つでもあると、どんどん広がるので、早めに皮膚科や小児科を受診しましょう。



もし、とびひにかかってしまったら、学校や園に御連絡ください!

◆「京都市こどもの感染症」に関するお問合せ

- お近くの保健センター
- 京都市保健福祉局 保健医療課 (TEL:075-222-3411 FAX:075-222-3416)
- 京都市衛生環境研究所 管理課 (TEL:075-312-4942 FAX:075-311-3232)

衛生環境研究所のホームページからも御覧になれます

登録いただいた方に、京都市内での感染症の流行やその予防など役立つ情報をメール配信しています。登録・情報利用料は無料ですが、メール受信に係る通信料は自己負担となります

京都市印刷物 第272138号
平成27年8月 発行
京都市衛生環境研究所



掲示期間：平成27年8月1日～8月31日

登録画面へは下記から

みやこ健康安全ねっと

検索

または

